

事業報告書

自治体名

東京都

【基本情報】

フリガナ	イヨホクジンヤダミドリカイ
法人名	医療法人社団翠会
フリガナ	グループホームサンホーム
事業所名	グループホーム サンホーム
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
共同生活援助	
職員数（常勤換算数）	【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】
9.6人	
ICT機器等導入完了日	令和 8年 3月 5日

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
請求業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
勤怠管理	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）
シフト表作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
給与業務	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等でも対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等でも対応）

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	①作業の迅速化	Lenovo ThinkPad E16	1	
⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト	①作業の迅速化	ケアオール	1	
⑦Wi-Fi・ルーター	①作業の迅速化	グループホームシステム接続用VPNルーター	1	
⑦Wi-Fi・ルーター	①作業の迅速化	PC端末接続用アクセスポイント	2	
⑦Wi-Fi・ルーター	①作業の迅速化	アクセスポイント接続用PoEハブ	2	
⑦Wi-Fi・ルーター	①作業の迅速化	ネットワーク設定費用	1	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
 - ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
 - ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
- なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
 - ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
 - ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
 - ④その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	7人	300件	3,600件	6分	360時間	51時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	7人	150件	1,800件	18分	540時間	77時間	
③請求業務	2人	32件	384件	30分	192時間	96時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		482件	5,784件	54分	1,092時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

利用者一人当たり作成する一日の記録作成数の平均値を出し、一日の記録作成数を算出し、ひと月に換算した。

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

1件当たりにかかっている時間を職員に確認し平均値を算出。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり 発件数	B.年間発件数 (A×12)				
①支援記録の作成	7人	300件	3,600件	5分	300時間	43時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	7人	150件	1,800件	17分	510時間	73時間	
③請求業務	2人	32件	384件	20分	128時間	64時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		482件	5,784件	42分	938時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発件数の算出方法

利用者一人当たりの一日に作成する支援記録数の平均値を出し、一日の支援記録数を算出し、ひと月に換算した。

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

1件当たりにかかる作業時間を職員に確認し平均値を算出。

年間業務時間数削減率 (%)

14.1%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
支援記録文書	270ページ	3,240ページ
請求関係書類	94ページ	1,128ページ
		0ページ
	364ページ	4,368ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
支援記録文書	270ページ	3,240ページ
請求関係書類	64ページ	768ページ
		0ページ
	334ページ	4,008ページ

年間作成文書量削減率 (%)

8.2%

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

事業所の会議にて定期的に検討し、法人本部にも相談しながら進めた。
複数の業者の支援ソフトの説明を受け、職員間で良い点、悪い点を共有し、業者を選定した。
ネットワーク環境の整備に時間を要した。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果

- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
- 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- 5 その他の効果があった。
- 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

ソフトウェア導入による効果

- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
- 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
- 6 その他の効果があった。
- 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

導入して間もないため明らかな業務効率化は見られていないが、これまで紙媒体で行ってきた記録業務がPCによる入力になったことで時間の短縮が若干見られる。各利用者の支援記録が1冊のファイルにまとめられていたため、複数の職員が同時に記録をすることが出来ていなかったが、支援ソフトになりデータ上になったことで複数の職員が同時に記録を行えるようになった。

但し、PC操作に不慣れな職員もおり事業所全体としての効果が現れるのはこれからと思われる。
※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

導入間もないため効率化による明らかな時間の確保は出来ていないが、今後は利用者への直接支援、支援内容を検討する時間に活用できればと思っている。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額 (円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当 (※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当 (※2)	

(※1) 「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

(※2) 「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。